



日向國 天岩戸神社

amanoiwato jinja

<http://www.amanoiwato-jinja.jp/>

M:¥ACTIVE

DATA¥BD05DVD31_INTERNET¥glomacanj¥butsuzou¥meisho¥kyushu¥takachiho201406

* 天岩戸神社・天安河原・・・神々に出会えそうな空気が漂うパワースポット

■神社名 宗教法人 天岩戸神社

■所在地 〒882-1621

宮崎県西臼杵郡高千穂町大字天岩戸 1073-1

天岩戸神社は、宮崎県高千穂町に鎮座し、日本神話(古事記・日本書紀)の中に書かれております天照大御神様のお隠れになられた天岩戸と呼ばれる洞窟を御神体として御祀りしており、天岩戸神話の舞台となった場所でございます。

岩戸川をはさんで西本宮と東本宮が鎮座し、両社とも天照大御神様を御祭神として御祀りしております。

川上には八百萬の神々がお集まりになり、御相談をされた天安河原がございます。



古事記(こじき)、日本書紀(にほんしょき)等に皇祖天照皇大神(あまてらすすめおおみかみ)は御弟素盞鳴尊(すさのおのみこと)を御避け遊ばして暫く天岩戸(あまのいわと)へ御籠り遊ばされた事を記して居ますが、当神社は其の靈蹟天岩戸(あまのいわと)を斎ひ奉る神社です。

境内社殿の背後断崖の中腹に御窟あり天照皇大神(あまてらすすめおおみかみ)籠らせ給ひし処と伝へ、古より其の御神域を御神体としてお祭り致して居ります。

社殿は東本宮(ひがしほんぐう)と天岩戸(あまのいわと)直拝の西本宮(にしほんぐう)と岩戸川(いわとがわ)の溪谷を挟み相對して御鎮座しますが東本宮(ひがしほんぐう)關係の昌泰(しょうたい)年間の記録に天照皇大神(あまてらすすめおおみかみ)、天岩戸(あまのいわと)より御出ましの節、思兼神(おもいかねのかみ)其の御手を取りて東本宮(ひがしほんぐう)の土地に御造營の御社殿へ御鎮りを願ったと記してあります。

弘仁壬辰三歳中秋には三田井(みたい)候の遠祖、大神大太惟基(おおかみたゆうこれもと)公靈夢に恐惶して頽廢せる社殿を再興し深く其神明を崇敬したと申します。

又神社に由縁の舞樂として岩戸神樂(いわとかぐら)三十三番の古雅なる手振を宮司社家代々伝へ氏子達習ひ伝へて祭典に奉奏する外、毎年十一月下旬より二月初旬にかけ、各集落において、民家にメかざりして終夜舞続け黎明に及びて岩戸開(いわとびら)きと称するを舞納むる慣習があります。

住時名士の此の地を訪ふ者も多く寛政の奇士高山彦九郎(たかやまひこくろう)の参詣紀行あり薩摩の歌人八田知紀(はったともり)礼参し、水戸の烈士井上主人義秀(いのうえもんどよしひで)等八名参籠して俳句「落つるには 手もなきものよ 蝸牛(かたつむり)」を残して居ます。

又大宝の昔京都神祇宮卜部朝臣(うらべあそん)参拝の記録あり相当古くより中央に認められて居た事が考えられます。

皇室の崇敬も厚く秩父宮殿下、秩父宮妃殿下、高松宮殿下、三笠宮殿下、朝香宮殿下、常陸宮(義宮)殿下を始め皇族、侍従の代参等、度々の御参拝がありました。

天岩戸神社 西本宮

御祭神 大日靈尊(おおひるめのみこと) 【天照皇大神の別称】

御神木 招靈(おがたま)の木

天照皇大神が御隠れになられた天岩戸(洞窟)を御神体として御祀りしている神社。



天岩戸神社 東本宮

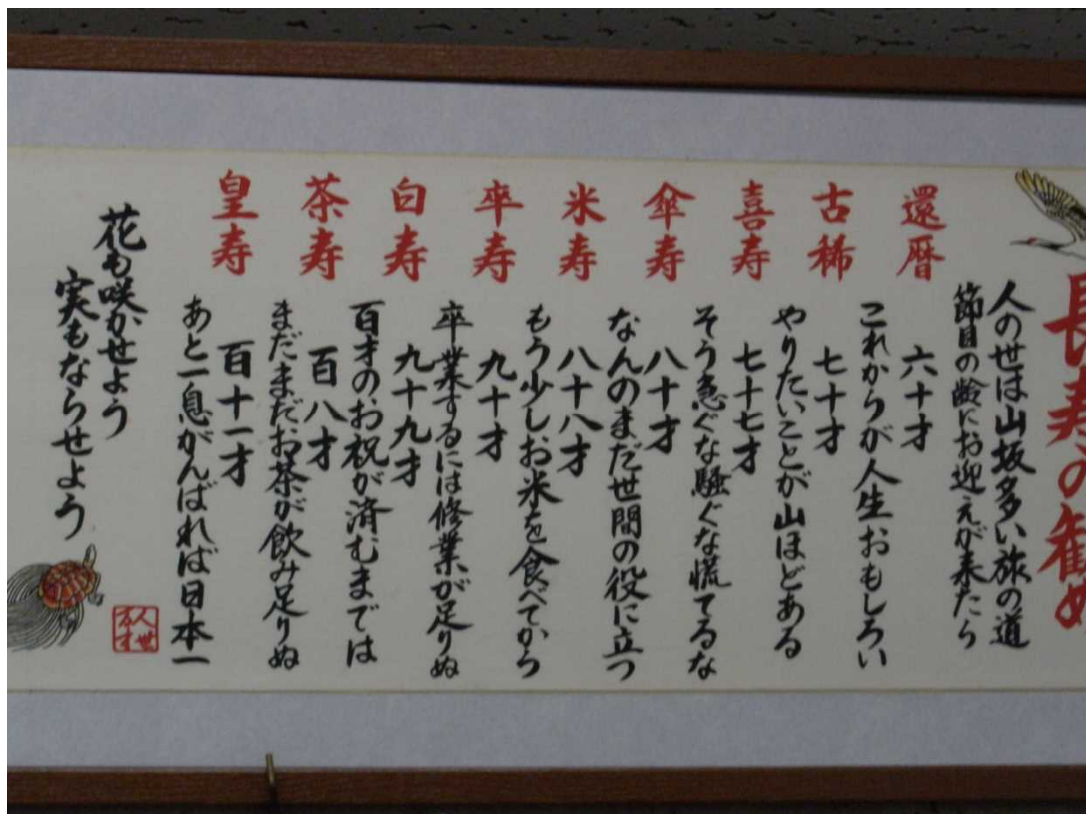
御祭神 天照皇大神(あまてらすすめおおみかみ)

天照皇大神が天岩戸からお出ましになられた後、最初にお住まいになられた場所を御祀りしている神社。





天安河原へ行く途中の茶屋で、ここでしか食べられないというソフトアイスを食べました。そこに学が飾ってありました。



健康十訓

健康は嬉しい 美しい 素晴らしい 素晴らしい
何はなぐても やばり健康

一少肉多茶

二少塩多酢

三少糖多果

四少食多嚼

五少衣多浴

六少言多行

七少欲多施

八少憂多眠

九少車多歩

十少憤多笑

自動車は確かに早い、少し歩けば健康が促進
怒らないで、言わなくても、言わなくても、忘れたい

ほのき
¥150

親父の小言



朝きげんましろ
思は遠なるを
人は馬鹿なれど
年忌法事としろ
家業は精を出せ
働いて儲けて使え
ばくらは決り打な
大めしは喰うな
亭主は立てろ
初心は忘れな

火は粗末にするな
難儀な人はほどせ
風吹きに遠出する
人には貸してやれ
貧乏は苦学な
借りては使うな
義理は欠かすな
大酒は飲むな
人の苦勞は助けられ
年寄りはいわれ

後始末はきんじり
神仏はよく拝ませ
何事も身分想は
水は絶やさぬと
戸締りに気を配る
自らに過信すな
怪我と災は恥と思え
袖のたばきも母な
書物を多く読め

家内は笑え暮せ
出陣に文句を言は
万事に気を配れ
泣きこは云うな
女房は早くもて
人には腹をたてな
産前産後大切に
不吉は言うからず
病気はよく気を配

天保
朱印

家内安全開運長久路平安祈念胎之